

安楽だより

志布志市立安楽小学校



第318号

発行責任者：校長 横峯 健

発行年月日：令和4年11月29日

人権週間を前に

校長 横峯 健

3学期制で一番長い2学期もあと1か月を残すだけとなりました。本月始めの1日から7日まで「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」がありましたが、久しぶりにたくさんの保護者や地域の皆様に子供の姿を見ていただくことができました。参観ありがとうございました。参観した御意見もたくさんいただきました。いい意見は心の栄養に、改善しなければならないことはしっかり自分事として捉えて改善していきたいと思えます。

いよいよ師走に入ります。本校では12月5日から10日まで「校内人権週間」を実施します。一人一人の人権を尊重する集団を育むことと個人の自尊心を高め、互いに認め合い思いやりの心を育む人権感覚の高揚を図ることをねらいとしています。この期間中に人権集会や人権教室の開催や人権に関する図書の紹介を行います。また、自分のできるようになったことやみんなに知らせたいこと、友達の素敵などところを「実りカード」に書かせ、一人一人の自尊心を高め、互いの違いを認める機会をもたせていきたいと思えます。

本県では、子供と向き合う教職員の基本的な姿勢として「Mom」を大切にしています。(M:見つめる, O:思いをめぐらせる, m:向き合う)

○ 子供の事実を知るために「見つめる」



子供の気持ちは態度や行動に表れます。子供のつぶやきや口癖、しぐさなど、ささいな変化でも気付くことができるように日頃から子供に共感する力や見えないところまで想像するイメージーション力を高めて、子供をしっかりと「見つめる」ことを大切にします。

○ 子供の気持ちに「思いをめぐらす」



子供に寄り添うためには、子供の思いや願いを受け止めなければなりません。子供に対して受容と傾聴の姿勢で関わり、情報収集力を高め、子供の言動の原因(背景)を探ることが大切です。家庭との連携、他の職員や関係機関等との連携も不可欠です。

○ 子供から見えてきた課題に「向き合う」



子供から見えてきた課題を取り除いていかなければ子供の現状は変わりません。一人で対応せず、チームで対応することが大切です。子供と一緒に課題に向き合うことが子供や家庭の安心感につながります。

子供一人一人を温かいまなざしで見つめ、そのよさや可能性を伸ばそうとする大人の姿が、子供に安心感や自信をもたせ、お互いのよさを認め、支え合う雰囲気を作り出すのではないのでしょうか。

12月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	
年	年	年	仕					二	特	特	特	全		門	特	委			緑			人		楠		校				校	
末	末	末	事					学	別	別	別	校		松	別	員			化			権		の		内				内	
休	休	休	納					期	校	校	校	朝		づ	校	会			タ			集		子		人				持	
業	業	業	め					終	時	時	時	会		く	時				イ			会		タ		権				久	
日	日	日						業						り					ム			呼		イ		週				走	
								式														び		ム		間					大
								・														け									会
								大																							P
								掃																							T
								除																							A

地域が育む「かごしまの教育」県民週間(11/1~11/7)

11月1日から4日間の県民週間にたくさんの方に参観していただきありがとうございました。保護者や地域の方、学童の職員の方等、合計で88名の方に子供たちの様子を見ていただきました。また、参観された方々からたくさんの御感想もお寄せいただきありがとうございました。頂きました感想は、全てまとめたものを全職員に配布し、課題等については、全職員で検討しながら今後に生かしていきたいと思ひます。御多用の中、足をお運びいただき本当にありがとうございました。



老人クラブの方との交流(11/12)

ここ2年間、新型コロナウイルス感染症の影響で実施されなかった老人クラブの方との交流が今年度3年ぶりに実施されました。14名の方に来ていただき、4年生にグランドゴルフを教えていただきました。はじめてグランドゴルフをする子供たちも多かったのですが、「おじいちゃんやおばあちゃんに打ち方を教えてもらって打てるようになった。」「だんだん上手になっておもしろかった。」等、子供たちも楽しそうにプレーしていました。こういう機会を作っていただきありがとうございます。子供たちのために御足労頂きありがとうございました。



小規模3校交流学习について(11/18)

2年間実施できなかった「小規模校3校との交流学习」を実施しました。潤ヶ野・森山・田之浦の3小学校の5・6年生と本校の5・6年生合わせて、ちょうど100人でしたが、5・6年それぞれに分かれて英語の学習をしたり、ソフトバレーボールをしたりしました。3校の子供たちも初めは緊張していましたが、徐々に安楽小の子供たちとも慣れ、楽しい時間を過ごすことができました。



